

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(2) 各指標・総事業費の推移				単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回		1	1	1	1	1			
	イ	回		1	1	1	1	1			
⑤ 対象指標	ア	団体		19	19	19	19	19			
	イ										
⑥ 成果指標	ア	回		2	2	2	2	2			
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	10	10	10	10	10	10	
	(A) 事業費計	千円	10	10	10	10	10	10	10		
		(A)のうち指定経費	千円								
		(A)のうち時間外、特勤	千円								
		正規職員従事人数	人	1	3	3	2	3	0		
人件費	延べ業務時間	時間	4	28	28	20	28	0			
	(B)人件費計	千円	16	112	111	80	111	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	26	122	121	90	121	10	10		

総トータルコスト
 全体計画
 ~ 年度
 (期間限定複数年度のみ記載)

— 1枚目 —

事務事業名	県北横断道路促進期成会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE)
*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 地域高規格道路として路線指定し、早期整備が図られるよう道路特定財源の確保、道路整備に関する長期計画の策定等が行われるよう総会で決定し、その結果を踏まえ県選出国会議員に要望や熊本県への要望活動は行った。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 厳しい財政状況の下、調査区間の指定が遅れている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 熊本阿蘇幹線道路整備促進期成会と重複する路線もあるが、地域高規格道路の必要性も今後検証が必要。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 期成会の一員として会費負担は適当である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 年に1～2回の会合であり、必要最小限度で進めており、適切である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域間を結ぶ高規格道路整備の要望であり、安心・安全・快適性・迅速性の確保を図るものであり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員が市町村長であり移行はできない。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善(有効性改善)
☐事業のやり方改善(効率性改善) ☐事業のやり方改善(公平性改善)
☐現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
低下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
国・県・地方とも財政的に厳しい状況が続いている。また、道路特定財源の一般財源化論があり道路整備の現状については不透明な状況である。